


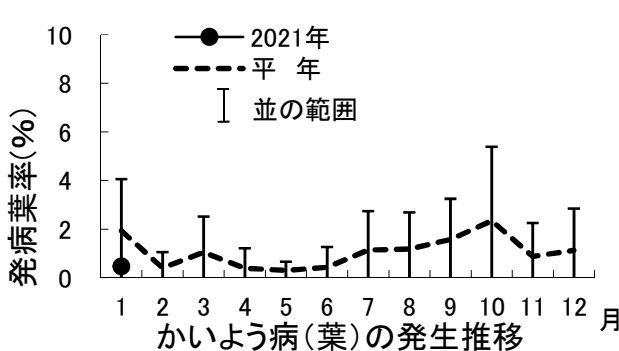
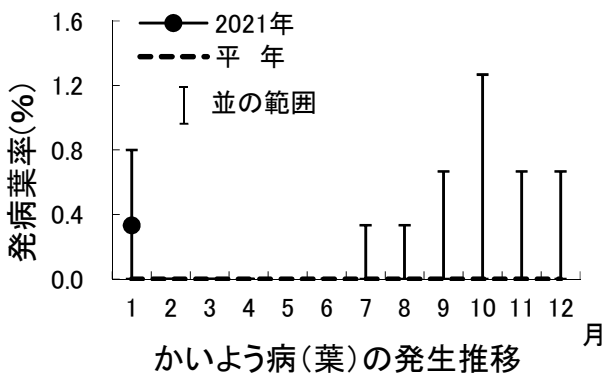
| | | | |
|-------|--------------|--------------|---|
| 作物 | かんきつ（温州みかん） | 地域 | 沖縄群島 |
| 病害虫名 | ① かいよう病 | |  |
| 調査結果 | 1 月の発生量（平年比） | 並 | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | ↘ | |
| | 2 月の発生量（平年比） | 並 | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（↘） | |

調査結果

（発病葉率）

〈中央値〉

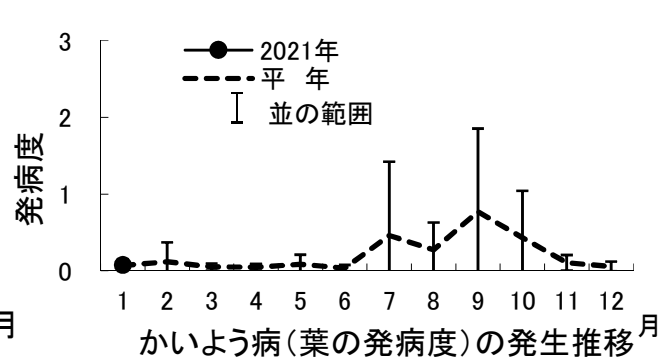
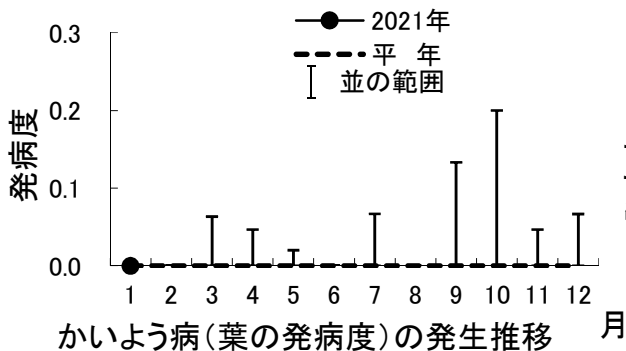
〈平均値〉



（葉の発病度）

〈中央値〉


〈平均値〉



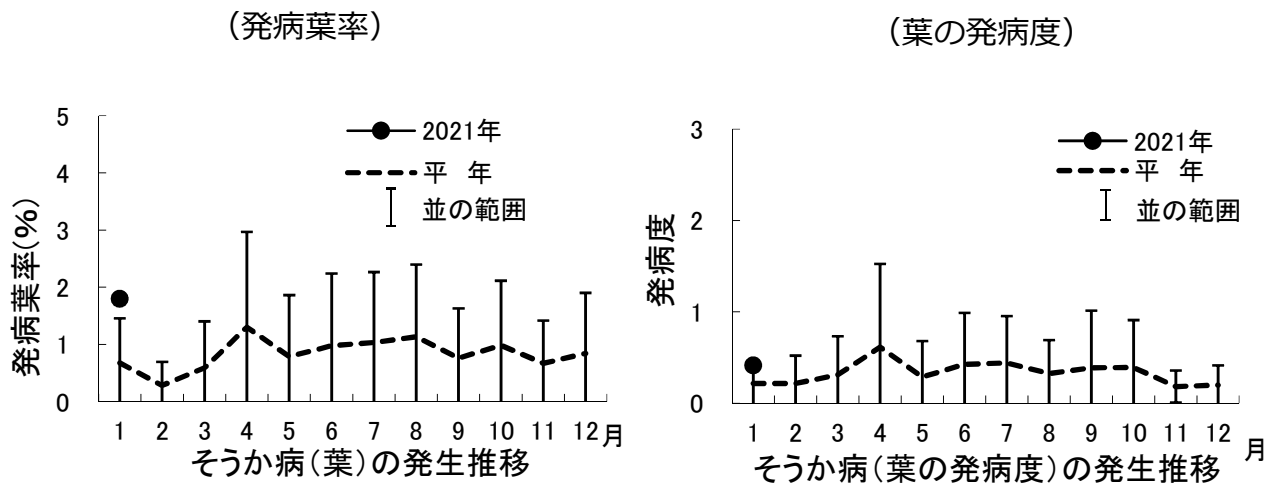
・ 発生ほ場率：60%（平年値：39%）

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

| | | | |
|-------|--------------|--------------|---|
| 作物 | かんきつ（温州みかん） | 地域 | 沖縄群島 |
| 病害虫名 | ② そうか病 | |  |
| 調査結果 | 1 月の発生量（平年比） | やや多 | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | ↓ | |
| | 2 月の発生量（平年比） | やや多 | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（↓） | |

調査結果



- ・ 発生ほ場率：60%（平年値：36.6%）

防除のポイント

- ・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

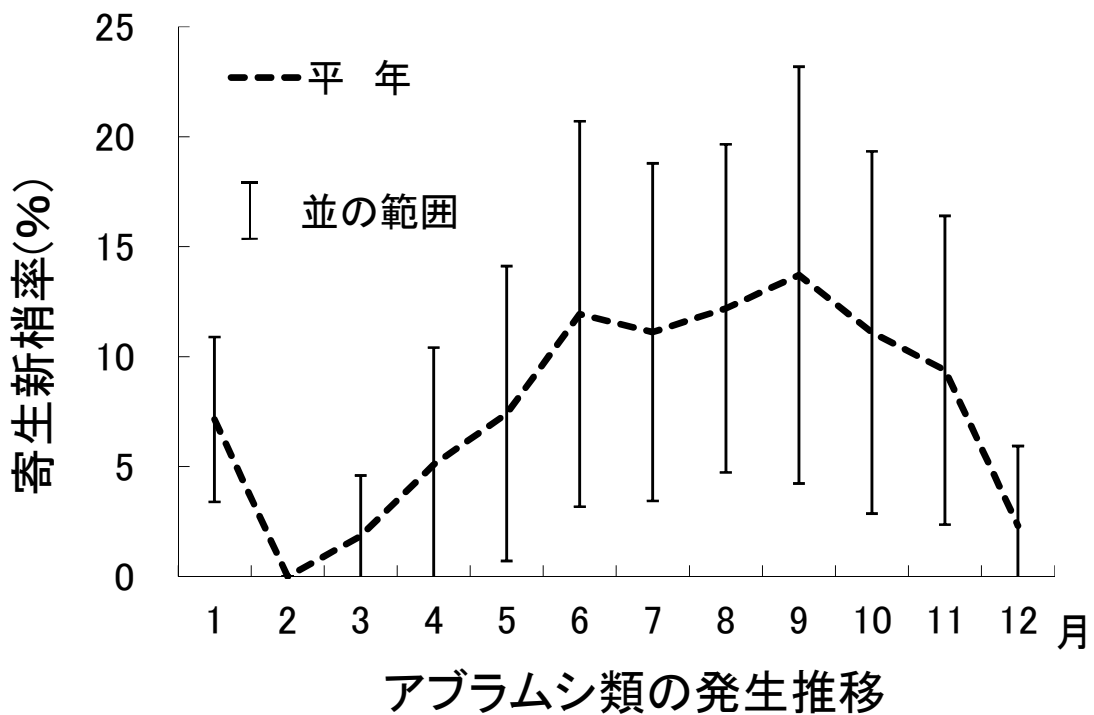
被害果→



| | | | |
|-------|--------------|----|------|
| 作物 | かんきつ（温州みかん） | 地域 | 沖縄群島 |
| 病害虫名 | アブラムシ類 | | |
| 調査結果 | 1 月の発生量（平年比） | — | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | — | |
| | 2 月の発生量（平年比） | — | |
| 予報の根拠 | | | |



調査結果




- ・ 新梢数が基準に満たなかったため1月の調査データなし

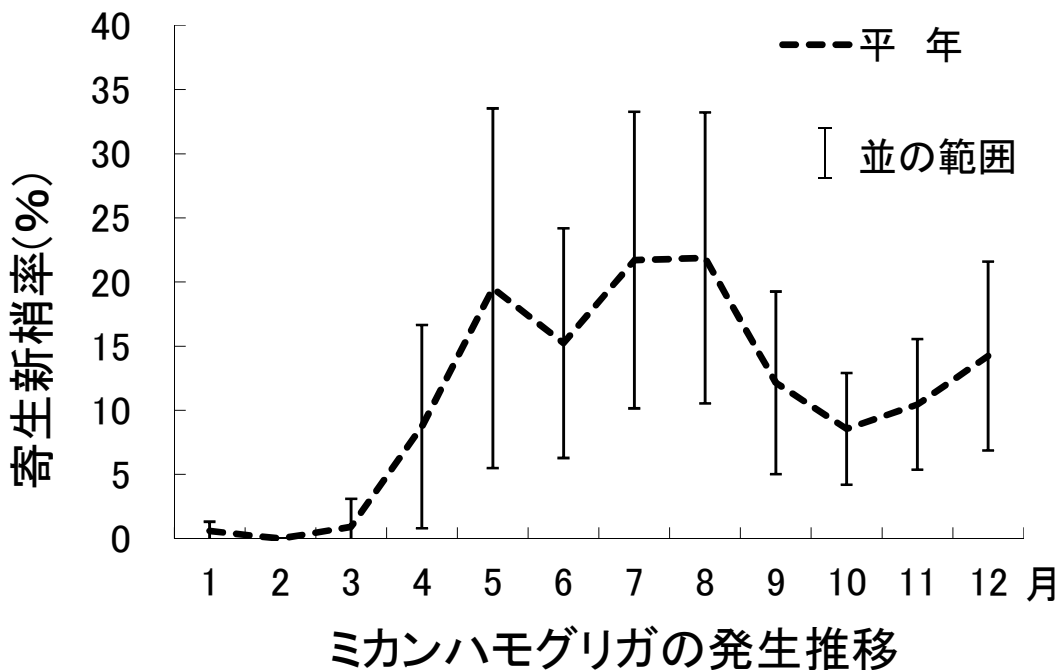
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



| | | | |
|-------|--------------|----|---|
| 作物 | かんきつ（温州みかん） | 地域 | 沖縄群島 |
| 病害虫名 | ミカンハモグリガ | |  |
| 調査結果 | 1 月の発生量（平年比） | — | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | — | |
| | 2 月の発生量（平年比） | — | |
| 予報の根拠 | | | |


調査結果



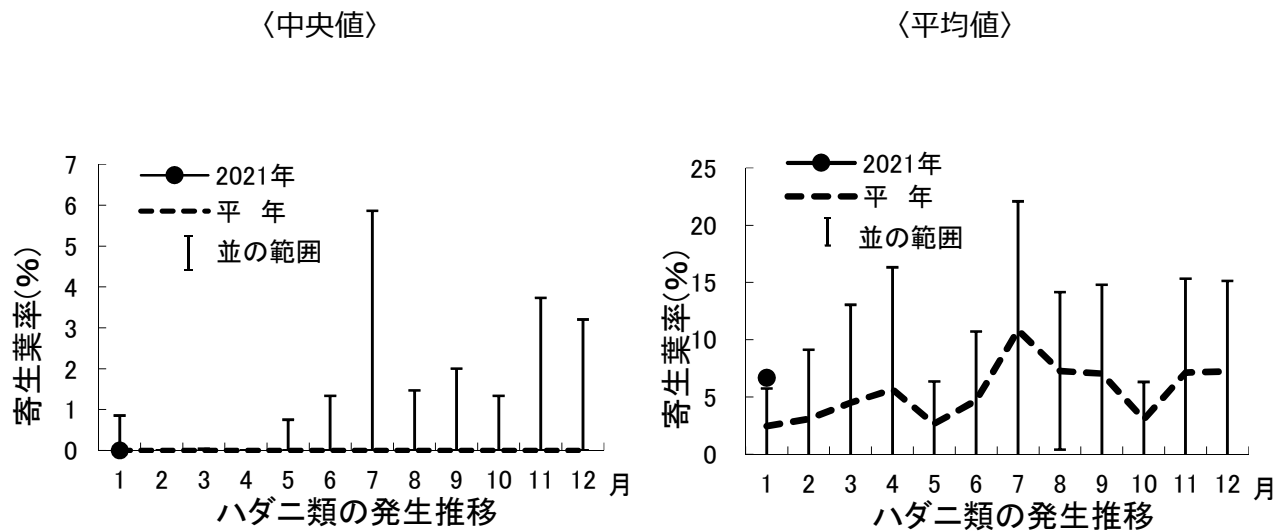
- ・ 新梢数が基準に満たなかったため1月の調査データなし

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすいため、除去に努める。

| | | | |
|-------|--------------|--------------|---|
| 作物 | かんきつ（温州みかん） | 地域 | 沖縄群島 |
| 病害虫名 | ③ ハダニ類 | |  |
| 調査結果 | 1 月の発生量（平年比） | 並 | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | → | |
| | 2 月の発生量（平年比） | 並 | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（→） | |

調査結果



・ 発生ほ場率：40%（平年値：34.1%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状